

登米圏域における事業展開イメージ

(1) テーマ
「みやぎの明治村」と登米の自然&うまいもんでみんなの元気復活
(2) 概要
<p>①個人旅行者向けパック旅行の造成とモニターツアーの実施</p> <p>県内・登米市内在住者向けに、「みやぎの明治村」を核とした交通も含めた個人旅行者向けのパック旅行を造成し、観光消費の回復を図るとともに、登米地域の観光情報をPRするもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市在住者を対象とした仙台駅発着プランと、登米市民を対象とした登米市内発着のプランを用意。 ・登米地域の農林業体験と自然（オルレ登米コース，森林セラピー）や「みやぎの明治村」をガイド付きで楽しむ1泊2日コース。 ・「みやぎの明治村」内の旅館に宿泊し，名産のうなぎや仙台牛を楽しむことができる。 ・登米市内のタクシー事業者と連携し，全コースをタクシーによって移動する。 ・交通費，宿泊費，施設見学費，ガイド料金等をパックにし，通常料金よりも割安な価格で提供する。 ・モニターツアーにおいては一部費用を県費で補助する。 ・モニターアンケートにより，ツアーの内容，価格等を検討し，実販売に向けてブラッシュアップする。 <p>②「みやぎの明治村」を巡ってうまいもん食べようキャンペーンの実施</p> <p>「みやぎの明治村」の施設入館券と飲食店の割引を同時に行い，誘客と域内の周遊を促進とともに，SNSやオンラインを活用したPRを実施するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化施設の入館券を割引し，一定以上の施設を巡った方を対象に，町内の飲食店において割引を行う。 ・着物やハイカラさんの衣装を着て，指定する歴史・文化施設で写真を撮り，SNSにアップした方を対象に，記念品の贈呈または飲食店の割引券や人力車への無料乗車券を贈呈する。 ・みやぎの明治村について，旅行雑誌等で特集ページを掲載し，同時に誌面において読者プレゼント（無料入館券等）企画を実施する。 ・著名な建築家の隈研吾氏による明治村解説ツアーを行い，オンライン配信する。

(1) テーマ

登米の自然を味わう“寒いからこそ！グランピング！”

(2) 概要

一般的に自然観光が減少する冬季に、市内の伊豆沼、長沼周辺において、グランピングを核とした誘客コンテンツを造成し、モニター企画を実施することにより、コアな登米ファンの獲得を図るもの。

- グランピングの設備をレンタルし、秋～冬期に期間限定のグランピング場を開設する。
- 想定するグランピング施設の開設場所
 - ①伊豆沼（伊豆沼農産周辺）
 - ②長沼フートピア公園
 - ③兵糧山公園
- 可能な場合は食事の提供を行い、または登米市産食材のBBQセット等を提供することにより、地域の農林畜産物のPRも行う。
- 必要に応じて、渡り鳥や自然等を案内するガイドもセットにする。
- 冬でも快適に過ごせるグランピング施設と、登米市の冬の自然（渡り鳥、星空等）、豊富な食材、温泉等を満喫してもらい、登米市のファンを獲得するモニター企画。
- 宿泊者には「みやぎの明治村」の無料入館券や市内道の駅等で使用できるクーポン券等をプレゼントし、地域内の周遊を促進する。
- 事業中の宿泊は特別料金にて提供する。
- 事業を活用してその後の事業展開について検討する。

(1) テーマ

登米市おかえりモネプロジェクト推進協議会への支援

(2) 概要

登米市は、気仙沼市とともに来年度のNHK連続テレビ小説「おかえりモネ」のロケ地となったことから、登米市が設置した「登米市おかえりモネプロジェクト推進協議会」と連携し、舞台地活性化のための各種事業を展開し、登米地域の魅力を内外に発信するとともに、新型コロナウイルスの影響で減退した地域観光の振興と地元商店街等の活性化を図る。

「登米市おかえりモネプロジェクト推進協議会」

目的：「おかえりモネ」の舞台であることや放送による反響を最大限に活用するため、観光に関わる事業者等が相互に連携し、登米市の魅力を全国に向けて発信し、交流人口・定住人口・関係人口の拡大を図り、観光の振興及び地域活性化に寄与する。

構成：宮城県，登米市，登米地域商工会連絡協議会，登米市観光物産協会，JAみやぎ登米，JA新みやぎ，登米市森林管理協議会，とよま振興公社，とめ青年会議所，登米市道の駅連絡会，登米市バス協議会，宮城県タクシー協会仙北支部登米ブロック，登米栗原地区ホテル旅館生活衛生同業組合（13団体）

活動

【ロケ支援部会】

撮影の支援業務及び舞台であることの広報活動や魅力発信を行う。

- ・ ロケ地に関する調整，支援
- ・ エキストラの募集・出演調整
- ・ 撮影スタッフへの対応 ほか

【観光振興部会】

放送による効果を活用し、観光客の誘客，ご当地グッズ等関連商品の開発，観光物産施設のおもてなし向上等に関する業務を行う。

- ・ タイトルロゴ入り広報ツールの作成（ポスター，のぼり，車用ステッカー等）
- ・ NHKとの相互協力による番組パネル展の企画開催
- ・ 番組情報誌「NHKウィークリーステラ」を活用したPR活動 ほか

(1) テーマ

観光振興リーダーの育成

(2) 概要

登米市の観光地域づくりについて、座学、ワークショップ演習、現地視察を組み合わせた研修を複数回継続的に実施し、一元的にコーディネートできるリーダー的な人材を育成する。

○参加者

多様な業種（観光協会、行政機関、一次産業従事者、ものづくり等従事者、地域の各産業振興団体、まちづくり団体 など）で、観光地域づくりに関わり得る人材

○研修プログラム事例

科目	目標・ねらい	内容
リーダーシップの考え方についての講義（座学）	観光地域づくりにおけるリーダーシップを理解する（気付き、新たな視点を獲得）	観光地域づくりにおける人材の役割、観光地域づくりにおけるリーダーシップについて理解を深める。
観光地域づくりについてのディスカッション(ワークショップ演習)、グループ発表	リーダーシップ能力を高める(理解を深める)	正解はないが、創造的な答えを多く検討できる課題に対する検討作業を課すことによって創造性、論理性、主体性を見出す。 ・地域の理想的な将来像 ・将来像とのギャップや、理想像に近づくために必要な取組等
観光地域づくりをテーマとした個人発表	リーダー候補となる人材を見極める	観光地域づくりに向けて、自分自身が取り組んでいきたいと考えることを発表する。
地域資源の現地視察	地域資源の認識の共有化・意識の拡充	ワークショップ演習を通じて挙げられた地域の核となる資源を実際に見に行く。
観光地域づくりマネジメント・マーケティングに関する講義（座学）	マネジメント・マーケティングに関する基礎知識を得る（気付き、新たな視点を獲得）	観光地域づくりマーケティング、観光地域づくりマネジメントの考え方を学ぶ。

○人材育成事業に求められる視点

- ・中核となる人材に求められる能力は多岐にわたり単発のセミナーや研修会等だけではできないことから、中長期的視点に基づき継続したプログラムとして構成し、専門性を持つ組織と連携しながら育成していくことが必要。
- ・人材育成後の活用方法（出口）として、「活躍の場」「観光地域づくりの体制の中に位置づける」等を考慮することが必要。